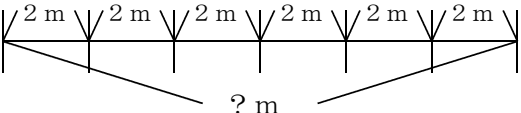
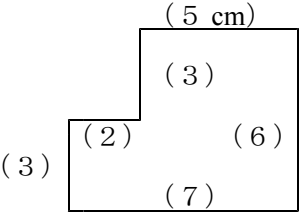
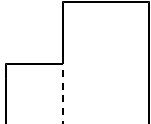
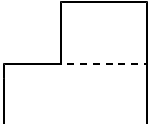
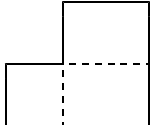
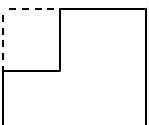


8. 本時の学習
 (1) 目標
 1 列に並んだものの数とその間の関係を図をかいて考え、問題を解くことができる。
 (2) 本時の展開

第 3 学年	
●支援 ○評価	学習活動
●何度も読んで、分かっていること聞かれていることなど大事なことに線を引かせ、題意を理解させる。 ●挿絵などに対応させながら数量の関係を図に表し、自力解決させる。図で解決した場合、式で表すとどうなるかも考えさせる。 ○木とその間の関係を図に表すことができる。〔表・処〕 〔木とその間の関係を線分図に表すことができるか。〕【プリント】 ●まず図について説明させ、次にどうしてその式にしたのか図と関連させて説明させる。 ●誤答がでたときは、再度図に対応させて何のいくつ分になるのかを考えさせる。 ●誤答がでないときは例を示し、どこが誤っているのか考えさせる。 ○木とその間の関係を理解して考える。〔考〕 〔(間の数)が(木の数)－1であることを考えているか。〕 【プリント・発言】 ●どのような場合においても(間の数)が(木の数)－1であることを、いくつか例を挙げて気づかせる。 ●類似問題を図と式をかいて解かせる。	①問題を把握する。 木が 7 本、1 列に並んでいます。 木は 2 m ずつはなれて立っています。 りょうはしの木の間は何 m ですか。 ②図にかいて考える。  木が 7 本ということは木と木の間は 6 こだから、りょうはしの木の間は $2\text{ m} \times 6\text{ こ} = 12\text{ m}$ <u>12 m</u> 〈誤答例〉 $2 \times 7 = 14$ <u>14 m</u> ③発表する。 ④まとめる。 ⑤練習問題をする。 ⑥算数日記を書いて 4 年生と交流する。

8. 本時の学習
 (1) 目標
 複合図形の面積を工夫して求めることができる。
 (2) 本時の展開

第 4 学年	
●支援 ○評価	学習活動
●公式を使った長方形・正方形の面積の求め方を思い出させる。 ●前時までに習った形と比較して、複雑になっていることをおさえる。 ●求め方に応じて、どの辺を測ればよいかの見通しをもたせ、実際に測定させる。 ●長方形の面積の求め方を利用して、問題の図形の面積を求めることができないか考えさせる。 ●困っている児童には、ヒントカードを示す。 - 面積の公式が使えるのは、どんな形だったかな？ - 線を引いて、形を分けて考えてみよう。 - 長方形をつくって考えよう。 - どの辺の長さをはかれば公式が使えるかな？ ●1 つの求め方でできたら、他の求め方を考えさせる。 ○複合図形の面積の求め方を工夫して考える。〔考〕 〔いろいろな求め方をいくつか工夫して考えているか。〕 【プリント・発言】 ●友達の発表を聞いて、自分の考えと比較し、それぞれの方法のよさに気づかせるようにする。 ●2 つの長方形に分けて面積を求める方法と、大きな長方形から欠けた部分を引いて求める方法があることを確認する。 ●エの考えが出てこなかった場合は、補助線を入れた図を提示し、求め方を考えさせる。	①復習問題をする。 ②学習課題を把握する。 右のような図形の面積をいろいろな考え方で、くふうして求めましよう。  ③面積を工夫して求める。 ア  $3 \times 2 + 6 \times 5 = 36$ <u>36 cm²</u> イ  $3 \times 5 + 3 \times 7 = 36$ <u>36 cm²</u> ウ  $3 \times 2 + 3 \times 5 \times 2 = 36$ <u>36 cm²</u> エ  $6 \times 7 - 3 \times 2 = 36$ <u>36 cm²</u> ④発表し、話し合う。 ⑤まとめる。 ⑥算数日記を書いて 3 年生と交流する。